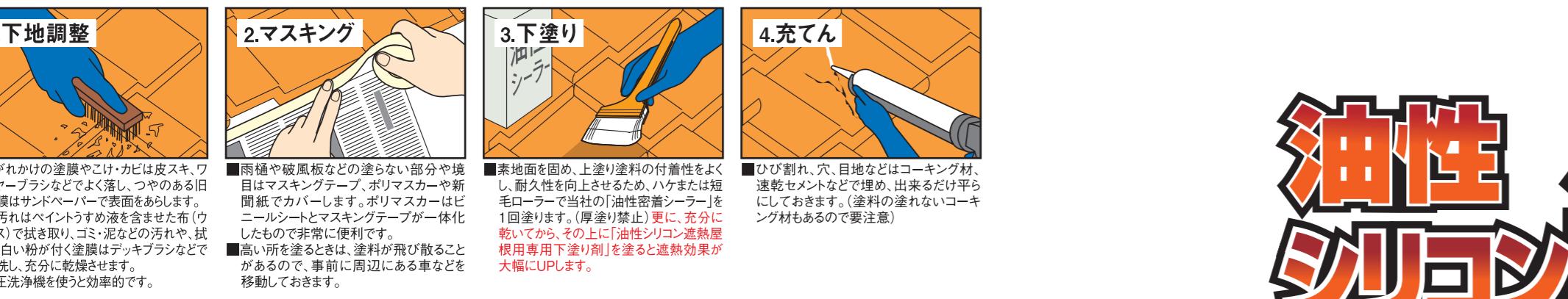




塗装方法/かわら屋根の場合(缶の切り口に注意・手袋を必ず着用すること)



セメント瓦、スレート瓦、新生瓦(カラーベスト・コロニアル)などの劣化した素地面に塗る場合は、必ず油性密着シーラー(下塗り剤)を塗ってください。※シーラーの厚塗りは厳禁です。

スチール缶

捨てください。

中身を使いきってから

プロテクター(プラスチック(PE))

一般色/非危険物(指定可燃物)

ぎん黒・さん黒2号・安田色/A

第2石油類 危険等級IV

火災報知



塗装方法/トタン屋根の場合(缶の切り口に注意・手袋を必ず着用すること)

用途

※表示以外の用途には使用しないこと。

■トタン、セメント瓦、スレート瓦、新生瓦(カラーベスト・コロニアルなど)などの住まいの屋根 ■鉄部・木部(床を除く)

●ガルバリウム鋼板、塩化鋼板、フッ素鋼板、銅板、ステンレス板、アルミ板、樹脂板には不適。

●釉薬瓦、無釉薬粘土系瓦、施釉セメント瓦、施釉コンクリート瓦、乾式洋瓦(モニエル瓦)、シングル系瓦、天然石瓦には不適。

材質の種類を確認してからご使用ください。

遮熱塗料について

●表記している温度は、独自の機器にて計測した自社塗料比較試験によるものです。(実際の屋根で計測したものではありません)参考値としてお考えください。

●遮熱効果は塗装箇所の天候や環境、被塗物の状態、塗装条件、色などによって異なります。特に、従来の塗料と比較して、濃い色(コーヒー・ブラウンなど)の遮熱効果が大きく、明るい色(スカイブルーなど)の遮熱効果は、小さくなります。

●塗り回数が少なかったり、うすめ過ぎるなどの理由で塗膜の厚さが薄くなってしまった場合は、期待される遮熱効果が充分に得られないことがあります。

●素地面を固め、上塗り塗料の付着性をよくし、耐久性を向上させるため、ハケまたは短毛ローラーで埋め出します。■アクリル・シリコン樹脂塗料

●ひび割れ、穴、目地などをコーキング材、速乾セメントなどで埋め出します。■塗料の塗れないコーキング材もあるので要注意。

●漆喰や破風板などの塗らない部分や境目はマスキングテープ、ポリマスカーラーなどにより保護します。■マスキングテープは、紙でカバーします。■マスキングテープは、紙でカバーします。

●油汚れはペイント用洗剤で表面をあらげます。

●油汚れはペイント用洗剤で表面をあらげます。